

(1) 事業概要

(2)トータルコスト

		単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)	
事業費	費目内訳	1 報償費	千円	1,178	940	545	913
		2 需用費	千円	38	41	55	63
		3 役務費	千円	43	35	40	38
		4 委託料	千円	13	14	14	16
		5 使用料及び賃借料	千円	177	175	173	193
		事業費計 (A)	千円	1,449	1,205	827	1,223
		うち一般財源	千円	1,449	1,205	827	1,223
人件費	正規職員従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	延べ業務時間	時間	600	600	600	600	
	人件費計 (B)	千円	2,280	2,280	2,280	2,280	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,729	3,485	3,107	3,503	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等		
① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
新成人に「大人として自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」ことを目的とした開始した。	少子化の影響から新成人になる人口も減少し続けている。	旭市中学校校合同文化祭と5年後の成人式を繋ぐ取り組みにより新成人の多くが成人式の式典の開催を期待している。

事務事業名	成人式開催事業	課名	生涯学習課	班名	社会教育班
-------	---------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 政策体系とは結びついていないが、20歳を迎える皆さんの門出を祝い励まし、大人としての自覚をもつ契機となるよう行う記念式典である。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 当該年度中に成人となる市内在住、又は旭市出身の人を対象としており、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 成人式を迎える成人どうしが久しぶりに会って交友を深める機会としての役割や、子どもが成人した姿を祝ってあげたいという親の気持ちもあるため、継続すべき事業である。新成人の把握は行政以外では困難であるため行政が実施すべきである。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 出席率は80%以上で目標水準に達成している。近隣市町村も行政で同じ事業を実施しており、いずれの市町村も出席率が高い状況である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 旭市中学校合同文化祭と5年後の成人式を繋ぐ取り組みにより参加率の向上が期待できる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(中学校合同文化祭) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 成人を迎える人が率先して自分たちの成人式を創っていくことが、式典をよりよいものにしていくことに繋がるという考えのもと、新成人に企画や運営に携わってもらうため、旭市中学校合同文化祭と5年後の成人式を繋ぐ取り組みにより連携できると考えられる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費のほとんどが報償費の参加者記念品代であるため、記念品の単価を抑えることにより、削減は可能である。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 思い出のスライドの作成は、卒業アルバムをスキャナーで読み取って加工しているため時間がかかるが、中学校から写真を電子データでいただくことが可能であれば業務時間を削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該年度中に成人となる市内在住、又は旭市出身の人全てを招待しており、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 成人式に臨むことで、大人としての自覚を持ち、また市で祝福することにより旭市民としての認識が高まると共に地域への貢献意欲の増につながる。
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業統廃合・連携(関連事業:中学校合同文化祭) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3)改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
(2)改革改善案について※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①旭市中学校合同文化祭と5年後の成人式を繋ぐ取り組みを実施。 ②参加記念品の見直しの検討。 ③今年度から中学校へ写真の電子データの提供依頼。																								
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①私の夢カードの作成や5年後の自分へ送る成人式の案内状の作成、成人式準備委員会(仮称)の代表者の選出は昨年度から実施しているが、5年後の当該委員会をどのように運営していくか検討が必要。 ②学校からの写真データの提供は、本人や保護者の確認が必要。																								